

中野区医師会館における新型コロナウイルスワクチン接種の事故について

令和3年8月11日(水曜日)午前10時20分頃に、中野区の新型コロナウイルスワクチン接種会場(中野区医師会館)において、2名の方に対して、ワクチンを充填せずに接種する事故が発生したので報告する。

1 原因・経過

本来、薬剤師が2名で、希釈したバイアルから注射器にワクチンを充填したトレイを、接種医師のいる接種ブースに届けることとしている。

当日、第2レーンの接種ブースを担当した医師は、事前に用意されていたトレイ2段分(12回分)を使って接種を開始したが、10時15分集合時間の方の接種の途中で使い切ってしまった。薬剤師から次に使用するトレイが届いていなかったため、当該医師は、自ら薬剤師ブースに行き、充填作業中の薬剤師に声をかけたものの、確認を得ずに充填前のトレイ2段分を接種ブースに持ち帰って2名に接種してしまった。

薬剤師が充填前のトレイがないことに気がつき、接種医師に連絡し、充填済みのトレイと差し替えを行い、以降の接種を行った。

2 発生場所

中野区医師会館(中野区中野2-27-17)

3 ワクチンを充填せずに接種した方

令和3年8月11日(水曜日)午前10時15分集合、第2レーンで接種を受けた方8名のうち、2名

4 対応

誤って接種した2名を含めて、念のため同時間に接種を受けた8名の方には、お詫びと健康状態の確認を行うとともに、希望する方に抗体検査を実施した。また、誤って接種を受けた方には、改めて接種の意向を伺い、接種場所等の調整を行う。

5 再発防止策

- ・従事医師、薬剤師、事務職員、運営管理者のマニュアル再確認と遵守徹底
- ・従事する薬剤師と医師による役割分担、二重チェックの徹底
- ・薬剤師ブース内で、充填前トレイと充填済みトレイの差別化